

5月14日 中村昭夫さん 瑞宝単光章を受章

平成30年春の叙勲において、元大槌町消防団分団長を務めた中村昭夫さん(74)が瑞宝単光章を受章され、5月14日、伝達式が行われました。中村さんは、昭和42年1月から40年の長きにわたり消防団員として活動されたほか、平成13年4月から平成19年1月まで、分団長を務められました。地域防災の要として町民の命と町内の安全を守るため、献身的に活動を続けてこられた功績が称えられ、この度の受章となりました。



6月3日 カレイ船釣り大会を開催

第5回大槌町長杯大槌湾カレイ船釣り大会が6月3日(日)に開催され、県内外から130名の参加者が大槌町魚市場に集まり、16艘の遊漁船に分かれ早朝5時半に出船しました。競技は6時間にわたり行われ、25センチ以上のカレイの総重量により、上位入賞者および大物賞、レディース賞等各賞が表彰されました。



優勝は10.91キロ(30匹)を釣り上げた大槌町大槌の伊藤剣(あきら)さん。平野町長から賞状と賞品(電動リール等)のほか、長坂復興大臣政務官から復興大臣賞が授与されました。この大会は、町の観光振興、交流人口拡大を目的に2014年から開催されており、釣り愛好家の中で広く定着したイベントとなっています。

6月17日 平成30年度大槌町郷土芸能祭 おしゃっちで開催

平成30年度大槌町郷土芸能祭が6月17日(日)、大槌町文化交流センター「おしゃっち」で開催されました。会場には町内の郷土芸能団体が一堂に会し、町の宝「郷土芸能」を町民の皆さんに堪能してもらおうと、迫力あるステージを披露しました。

また、特別出演として、陸前高田市の「気仙町けんか七太鼓」、奥州市の「金津流梁川獅子躍」の2団体が参加し、当町と同じく東日本大震災で被災した陸前高田市の気仙町七太鼓の代表者は、「我々も被災した中で、町の人達を元気づけるために郷土芸能を再開した。大槌の皆さんも同じだったと思う。大槌の人達の復興を応援したい」と挨拶しました。

会場のホールや屋外のお振る舞いコーナーには多くの人が行き交い、建物中に響き渡る太鼓や笛の音と躍動感あふれる舞いが観客を沸かせました。



▲金津流梁川獅子躍
◀気仙町けんか七太鼓

6月17日 町内有志が新山高原を整備
～初夏の新山つつじ再生祭～

6月17日(日)、新山つつじが咲き誇る新山高原を再生し、新たな「新山高原まつり」の開催を目指し、町民のボランティア活動による「新山つつじ再生祭」が行われました。当日は約70名が参加し、つつじの群生地である頂上付近の下草刈りや剪定活動を行いました。また、催しとして風力発電の勉強会やワラビ採り体験、参加者の交流昼食会が行われ、参加した皆さんは新山高原の自然を満喫し、町の花「新山つつじ」再生への願いを新たにしました。



感動のコンサートと、町内初から揚げ祭り到来者2,000人
おしゃっちたつたあーげ!まつり

6月10日(日)、大槌町文化交流センター「おしゃっち」がオープンし、記念イベント「おしゃっちたつたあーげ!まつり」が盛大に開催されました。記念式典の後、館内では、震災後、町に多くの支援をしていただいている指揮者、佐渡裕氏とスーパーキッズオーケストラや、この施設にランドピアノを寄贈していただいたプロジェクトに携わるピアニストの西村由紀江さんらと大槌町民楽団によるコンサートが開かれ、復興の象徴である施設にふさわしい、観客と一体となった感動的な演奏が館内に響き渡りました。ゲストと町民が奏でる「ひよっこりひよたん島」や「花は咲く」の音色に、客席には涙

する人の姿も見られました。

また今回のイベント名は、施設が「建ったあーげ(建ったよの意味の方言)」と、「竜田揚げ(から揚げ)」を意味し、屋外の会場にはから揚げ店舗がずらりと並び、食べ比べのフェスティバルが行われました。町内の3店舗とキッチンカーに加え、奥州市から1店舗が出店。2000人を超えた来場者は全店舗に長蛇の列を作り、イベント途中で全店売り切れになるほどの大盛況となりました。屋外ステージでは、地元バンドがから揚げをテーマにロックステージを披露し、雨の中集まった聴衆を沸かせました。

